

慶應技術士会が出前教室を行いました

令和7年11月21日（金）、横浜市立小学校理科クラブの小学4～6年16名を対象に出前教室を行いました。これは、令和7年度 神奈川県研究者・技術者等学校派遣事業に応募し、採用されたものです。

テーマは「割り箸でダヴィンチの橋を作ろう」で、くぎも接着剤も使わずに、割り箸の持つ摩擦力と重力だけで橋を作るものです。

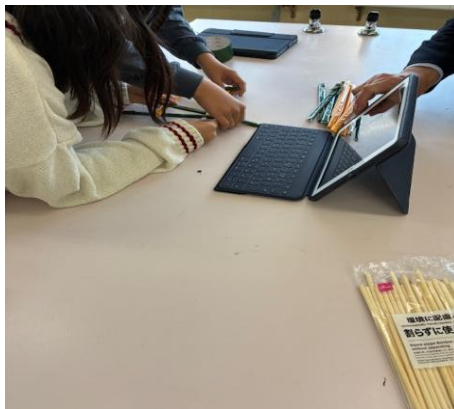
ダヴィンチの橋自体は、500年くらい前にレオナルド・ダヴィンチが考案したもので、現実には人が渡れる橋がノルウェーにあり、最近では自動車が渡るデモンストレーションも行われています。

授業の概要

モナリザで有名なレオナルド・ダヴィンチが、実はあらゆる分野における万能の天才であったこと、及び工作の全容をpptでまず説明し、今回のテーマの導入としました。

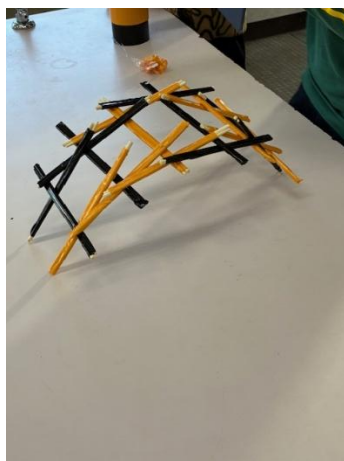
その後、16人の生徒を2名ずつの8グループに分けました。

各グループが、それぞれの工作進度に合わせながら、あらかじめ iPad に入れておいた作り方の動画を見て、少しずつ組み立てを開始です。



慶應技術士会から参加した6人の講師は、各グループを回りながら適宜アドバイス、手伝いを行いました。

当初の目的の、18膳を使用した橋が完成したグループは、さらに多くの割り箸を用いて、より大きな橋に挑戦していました。また、iPadを載せても崩れないほどの強度も確認できました。



呑み込みの早い生徒も多く、立派な大きな橋を作り上げるグループもいて、我々講師連中を驚かすくらいでした。

そして何よりも、挑戦して作り上げた生徒さんたちの「やったー」という晴れやかな笑顔が素晴らしく、参加した講師にとっての最高のご褒美でした。

そして、この挑戦とその達成感を是非とも体にしみ込ませて欲しいと思いました。

